



ボジョレ・パーティは今年も大盛況！

今年もボジョレ・ヌーボーの解禁日（11/17日）に合わせ、ワインの宴を開催しました。新酒の赤ワインは飲み放題、buffet形式の料理は食べ放題、そのうえステージ上の企画も盛りだくさんの内容です！まず、ステラ∞Haluna さんによる魅惑のベリーダンスショーで、男性陣の目尻は下がりっぱなし…（ワインの酔いだけではありますまい…）

次にワインの利き酒大会。ボジョレの他に、ノンアルコールワイン・イタリアワイン・国産赤ワインの4種を飲み比べて言い当てるというゲームです。

司会者のムチャぶり指名でソムリエの大野さんが飛び入り参加となりましたが、全問正解は大野さんのみ。さすがプロですね！

最後に恒例のビンゴゲーム（景品はシャンパン）で大いに盛り上がりました。参加費 4000 円でこれだけの内容ですから、本当にお得なパーティです。

来年のボジョレ解禁日も乞うご期待！



恒例の高瀬蔵ガラクタ市を開催しました！



（商店会イベント部会）

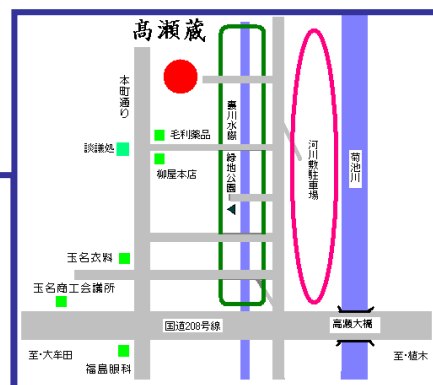
12月4日、恒例の「高瀬蔵ガラクタ市」を開催しました。

常連さんの来場も見られ、定着した感のあるイベントとなりました。初めての方にもご来場いただきましたが、さまざまな商品の中から品定めされる様子に「一体何が売れるやら」、「こんなものも売れた」とびっくりする場面もありました。

来年もスタッフの皆さん、面白い商品の提供をよろしくお願いいたします！

会費納入のお願い

当法人運営につきましては、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。平成28年の会費のお支払いがお済でない方は、高瀬蔵受付にて納入頂きますようお願いいたします。（受付事務局）



NPO 法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)
TEL・FAX 0968-72-2480
E-MAIL takasegura@aria.ocn.ne.jp
URL <http://www.tamana-cci.or.jp/npo/indexf.html>
開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)

高瀬蔵は熊本地震の被害から復旧しました！



高瀬蔵(小蔵)の復旧工事の様様

地域の皆様に『元氣力』を
発信し続けられるように

会員のみなさまにおかれましては、日頃より高瀬蔵の運営に對しましてご支援・ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

本年の4月14日・16日に発生した熊本地震により、高瀬蔵も外壁のひびや屋根瓦のずれなど、かなりの部分に被害を受けました。蔵の多目的ホールは、もともとあった大蔵と小蔵の2棟を連結し、ひとつのまとまった空間となっております。今回の地震では小蔵外壁部分の被害が大きく、復旧工事が完了するまで多目的ホールの使用と裏川へ通り抜ける背戸屋の通行が制限されました。

これまで、地域の皆様をはじめ関係者各位から多くの復旧に向けたご支援や励ましをいただき、お陰で復旧工事も完了し、通常通りの運営を行っております。

来年も引き続き楽しいイベントを開催し、高瀬蔵が被災した方々に『元氣力』を発信し続けられるようスタッフ一同、力を合わせて取り組んで参ります。ご存じます。

新年が皆様方にとりまして平穏で素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げ、年末・年始のご挨拶といたします。

理事長 猿渡 公予

熊本地震復旧記念企画として開催！ たからさがし。「しあ和せ繋ぐ展」



9月25日、ロハスデザイン大賞 2016 ヒト部門準大賞を受賞した“地域のたからものを探して旅するヒッチハイク女子二人組「たからさがし。」”による「しあ和せ繋ぐ展」を開催しました。

初めての企画でしたが参加者約100名のご来場を頂きました。

二人が旅をしながら見つけた地域の「たから」の展示や、高瀬の宝を探すまち歩きワークショップも行われ、二人の視点から見れば地域の魅力ってまだまだたくさんあることを気づいた方も多かったと思います。「たからさがし。」の吉永 早佑梨さんは、これまで高瀬蔵のイベントに参加したこともあり、その縁で今回イベントを企画することになりました。これからは若い人たちが、高瀬蔵を盛り上げてくれることを願っています。なお、高瀬蔵復旧支援金として5,000円を寄付して頂いております。

アナバ不動産 in 高瀬 第二弾



10月8日、あいにくの雨となりましたが「アナバ不動産 in 高瀬 第二弾」を開催しました。福岡市で活動されている、街で使われていない建物や空き地を、楽しく妄想して活用方法を考えるサークル「アナバ不動産」のメンバーをお招きしました。今回は、高瀬商店街の方にも協力を頂き、店舗や蔵の中にも入り、参加者はワクワクしながら“ここにこんなあったらいいな”を「妄想」しながら写真を撮影。写真を印刷した紙に妄想を書き込んでいきました。最後に、それぞれの「妄想」を発表して共有しながら、楽しく高瀬の未来を語り合いました。“まちづくり”は難しく考えてしまいがちですが、自由な発想で街の未来を考えてみることも大事だと改めて考える機会となりました。第一弾のアイデアと合わせて、高瀬のまちづくりに活かしていければと思います。

(まちづくり推進部会)

たかせかいわいちまたのはなし 高瀬界限巷間噺

まちかど教養講座「高瀬夜噺」が惜しまれながら幕を閉じましたが、新たに「高瀬界限巷間噺～たかせかいわいちまたのはなし～」と題して教養講座を始めることになりました。

第一話は、10月22日市教育委員会文化課の竹田宏司さんに、「裏川からみた高瀬のまち―石橋と石垣に見るまちの移り変わり―」という題でお話しをしてもらいました。

菊池川の河口港として栄えた高瀬。古墳時代に石棺が大阪まで運ばれた話から、海外交易の拠点となっていたことやキリシタンの交通路となっていたこと。江戸時代には大坂の米相場を左右したとされる肥後米の積出し港で、熊本藩の重要港として別格扱いだったことなどです。さらに、裏川の美しい景観をつくりだしている石橋の高低差や商家の石垣の積み方などに、長い歴史の中で積み重なってできたまちの痕跡が隠されていることにも気付かされました。

お話の後は、裏川を散策しながら、高瀬の石垣や石橋に残るまちの歴史の痕跡をたどりました。あいにくの雨でしたが、参加者は熱心に見聞きしていました。



高瀬マイスター倶楽部



(文化部会)



12月10日は、菓子講座で恒例となっている“高瀬職人塾へクリスマスケーキの作り方～”を学びました。レシピによる分かりやすい説明と山崎講師のプロの技と軽快なトークで、会場は盛り上がりました。

やわらかいスポンジの焼き上げから丸いホール型のケーキの形になっていく工程に、参加者の皆さんは熱心に見聞きしていました。参加した子ども達も、完成したケーキを撮影するなど楽しそうでした。